

若桜町・八頭町における地域公共交通活性化・再生総合事業  
(若桜谷公共交通活性化協議会)

事業期間  
21～23年度

若桜町・八頭町が鉄道施設を保有して鉄道事業者となり、若桜鉄道が運行する、いわゆる「公有民営」方式による再構築事業の一環として地域が利用促進策等に積極的に取り組み、地域の足として安定した運行の維持を図る。

【若桜谷公共交通活性化協議会】

若桜町、八頭町、鳥取県、鳥取市、若桜鉄道(株)、JR西日本、バス事業者、住民代表、若桜鉄道沿線活性化協議会、有識者、国(中国地方整備局鳥取河川国道事務所、中国運輸局)

事業の概要(21年度)

① 駅施設の復元等整備事業<1,774千円>

若桜鉄道施設が登録有形文化財に指定されたのに伴い、駅施設をレトロな景観に修復(若桜駅など6駅)



(若桜駅)



(丹比駅)



(因幡船岡駅)

② 登録有形文化財ハイキングツアー事業<135千円>

若桜鉄道の登録有形文化財施設の解説と沿線地域の町並みを散策するハイキングツアーの実施

開催日:平成21年11月23日  
8時15分～15時50分  
歩行距離:15km

(第一八東川橋梁、因幡船岡駅、隼駅、安部駅、丹比駅、若桜駅、転車台、給水塔ほか)



③ 広告媒体を介したキャンペーン事業<320千円>

観光客誘致のためのパンフレットの作成等  
広告事業を実施。

- 観光客誘客新聞広告
- 沿線ガイドマップ

～若桜鉄道沿線は魅力たっぷり～  
鉄道でスローライフを満喫

■冬のイベント  
マツノ山スキー(12月下旬～3月下旬)  
日本記念日会(鳥取県)2月17日  
■その根(3～11月、若桜鉄道沿線)  
マツノ山スキー場の温泉本舗  
マツノ山スキー場の温泉本舗

■沿線探検  
沿線探検50周年記念  
○1日フリー切符 780円  
数量100枚(神楽湯駅付)作成  
若桜～若桜駅(1日)40分～心算  
で楽しめる探検券

○ファミリー切符 780円  
土・日・祝日に限り、家族4名  
乗車料が大人1人1人1,370円  
(10歳未満は半額)で楽しめる探検券

■お問い合わせ  
沿線活性化協議会 0858(80)2911(代)  
八頭町役場 0858(70)0291(代)  
若桜鉄道株式会社 0858(80)2911

「沿線ガイドマップ」



## 21年度 導入 への プロセス

## 21年度 事業の 効果

## 次年度 以降

### ①地域の状況

少子高齢化や沿線人口の減少等により、輸送人員は減少する一方、インフラの保守管理費の増大等により、経常的に赤字を計上。運営助成基金は平成20年度末には枯渇するという、極めて厳しい経営状況にあった。

### ②若桜鉄道を残そうという地域の取組み

- ◆使われることなく50年以上放置されていた若桜駅の蒸気機関車時代の設備(転車台、給水塔、炭台、排炭ピットなど)を民間有志が復元。
- ◆若桜駅に残るSL資産(転車台、給水塔など)や、昭和初期の面影を強く残す駅舎などを観光資源(登録有形文化財登録)として、旅行代理店などに積極的に売り込むなど観光客誘致にも着手。

### ③法定協議会設置・連携計画策定

鉄道を基盤とした地域の活性化を目指して法定協議会を設置し、平成20年10月23日地域の足として安定した若桜鉄道の運行の維持を図るため、上下分離方式の導入による運行の確保や利用促進策等を盛り込んだ連携計画を策定。

### マイレール意識の高揚・観光利用の促進

駅施設の復元等整備事業は、昭和5年に国鉄若桜線として開業以来ほぼ原型のまま残され、なお、現役として使用されている駅施設を復元整備するもので、歴史ある鉄道施設は観光資源として、観光利用の促進及び地域の活性化に向けた活用が見込まれる。また、整備された駅舎は地域の宝として地域住民に認識され、マイレール意識の高揚に貢献している。

### 広報活動による利用促進・観光利用の促進

沿線ガイドマップは、「ツアー客から「沿線風景や駅舎風情に大変趣があってよい」「鉄道施設がわかりやすい」「沿線ガイドマップを見ながらフリー乗車券を使って沿線をまわってみたい」など高く評価されている。観光利用の促進に向けたツールとして有効である。

### 潜在需要の掘り起こし

リピーター客の獲得に向け、実験的に行ったハイキングツアーは、その運営について「大変満足した」「満足した」が68%、ガイドの説明について「大変満足した」「満足した」が95%と高い評価を得た。また、次回参加意向は95%と非常に高く、リピーター客を獲得する事業として効果があることが確認できた。

### 地域が一体となって展開する利用促進と観光資源を活用した需要喚起等による経営の安定化

#### ②観光資源を活用した需要喚起

沿線人口が減少する中、地域の活性化と若桜鉄道の収益増に向け、鉄道施設等を観光資源とした観光客誘客の積極的な展開を図る。

(例)名古屋や京阪神地区をターゲットとした戦略的な企画商品の販売等

#### ①地域が一体となって展開する利用促進

これまでのマイカーから鉄道利用に転換する取組みは、主に町職員が中心となったものであることから、今後は、地域住民が積極的に鉄道利用に転換することを促す施策のより一層の推進を図る。

#### ③イベントのレベルアップによるリピーターの獲得

イベントを一過性のものとしなため、イベント内容の充実をさらに行うなどして、リピーターの獲得を図る。

(例)登録有形文化財ハイキングツアーを地元企業、ウォーキング協会、商工会等と連携するなどしたレベルアップ